
平成30年3月期 決算補足説明資料

国際石油開発帝石株式会社

2018年(平成30年)5月10日

注意事項

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

2018年3月期 決算ハイライト

	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	8,744	9,337	592	6.8%
原油売上高	6,171	7,102	930	15.1%
天然ガス売上高(LPG含む)	2,425	2,081	△ 344	△ 14.2%
その他	146	153	6	4.6%
営業利益 (億円)	3,364	3,573	209	6.2%
経常利益 (億円)	3,338	3,872	533	16.0%
親会社株主に帰属する 純利益 (億円)	461	403	△ 58	△ 12.6%
1株当たり純利益 (円)	31.61	27.64	△ 3.97	△ 12.6%

期中平均株式数(連結)2018年3月期 1,460,357,100株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	49.88	57.85	7.97	16.0%
期中平均為替 (¥/\$)	108.38	110.86	2円48銭円安	2.3%円安

2

原油売上高

	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	6,171	7,102	930	15.1%

販売量 (千bbl)	122,207	112,882	△ 9,325	△ 7.6%
海外平均単価 (\$/bbl)	46.41	56.30	9.89	21.3%
国内平均単価 (¥/kl)	35,997	42,143	6,146	17.1%
平均為替 (¥/\$)	108.67	111.35	2円68銭円安	2.5%円安

地域別販売量 (千bbl)	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
日本	900 (143.0千kl)	940 (149.5千kl)	41 (+6.5千kl)	4.5%
アジア・オセアニア	12,246	6,554	△ 5,692	△ 46.5%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	11,336	13,266	1,930	17.0%
中東・アフリカ	95,495	90,412	△ 5,083	△ 5.3%
米州	2,230	1,710	△ 521	△ 23.3%
合計	122,207	112,882	△ 9,325	△ 7.6%

3

天然ガス売上高(LPG除く)



	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	2,357	2,020	△ 337	△ 14.3%

販売量 (百万cf)	342,994	264,816	△ 78,178	△ 22.8%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	5.19	5.04	△ 0.15	△ 2.9%
国内分平均単価 (¥/m ³)	43.36	46.36	3.00	6.9%
平均為替 (¥/\$)	108.38	110.70	2円32銭円安	2.1%円安

地域別販売量 (百万cf)	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
日本	71,295 (1,910百万m ³ *)	79,243 (2,123百万m ³ *)	7,948 (+213百万m ³ *)	11.1%
アジア・オセアニア	230,183	137,371	△ 92,812	△ 40.3%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	1,947	7,808	5,861	301.0%
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	39,569	40,394	826	2.1%
合計	342,994	264,816	△ 78,178	△ 22.8%

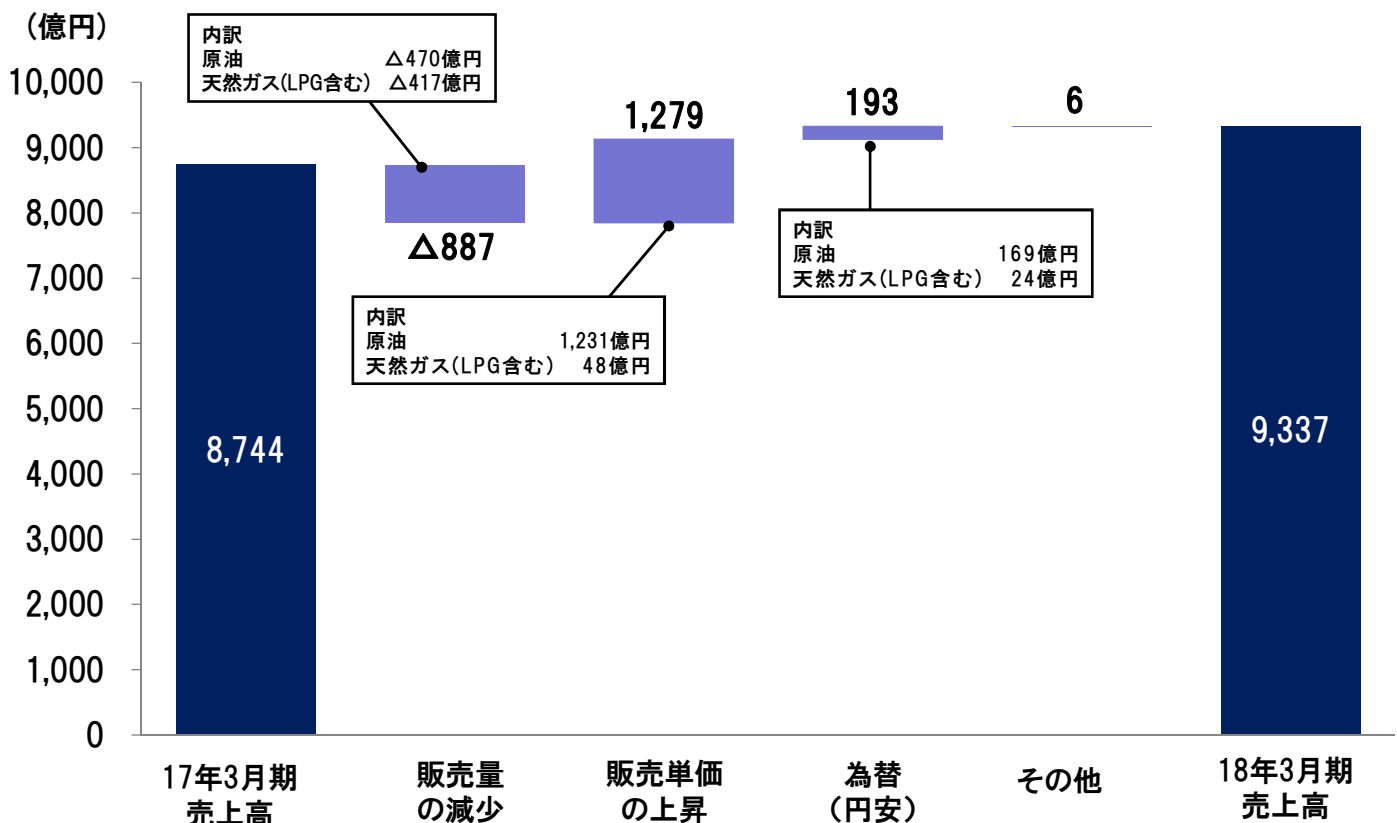
※ LPGの売上高は以下の通り。

*1m³当たり41.8605MJ

	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	67	60	△ 7	△ 10.8%

4

2018年3月期 売上高 増減要因分析



5

損益計算書

INPEX

(億円)	17年3月期	18年3月期	増減	増減率	
売上高	8,744	9,337	592	6.8%	販売量の減少 $\Delta 887$ 販売単価の上昇 $+1,279$ 為替(円安) $+193$ その他 6
売上原価	4,538	4,980	441	9.7%	原油売上原価: $3,587$ (増減) $+543$ 天然ガス売上原価(注): $1,261$ (増減) $\Delta 107$ (注)LPGを含む。
売上総利益	4,205	4,356	150	3.6%	
探鉱費	67	13	$\Delta 54$	$\Delta 80.3\%$	
販売費及び一般管理費	773	769	$\Delta 4$	$\Delta 0.5\%$	
営業利益	3,364	3,573	209	6.2%	主な要因 生産物回収勘定引当金戻入益 (増減 $+175$) 受取補償金 (増減 $+126$) 投資有価証券売却益 (増減 $\Delta 49$)
営業外収益	390	552	161	41.4%	主な要因 貸倒引当金繰入額 (増減 $\Delta 83$) 生産物回収勘定引当金繰入額 (増減 $\Delta 143$)
営業外費用	416	253	$\Delta 162$	$\Delta 39.1\%$	主な要因 カナダ シェールガスプロジェクト 762
経常利益	3,338	3,872	533	16.0%	
特別損失(減損損失)	63	799	736	-	
法人税等合計	2,713	3,093	380	14.0%	
非支配株主に帰属する純損益	99	$\Delta 424$	$\Delta 524$	-	
親会社株主に帰属する純利益	461	403	$\Delta 58$	$\Delta 12.6\%$	

6

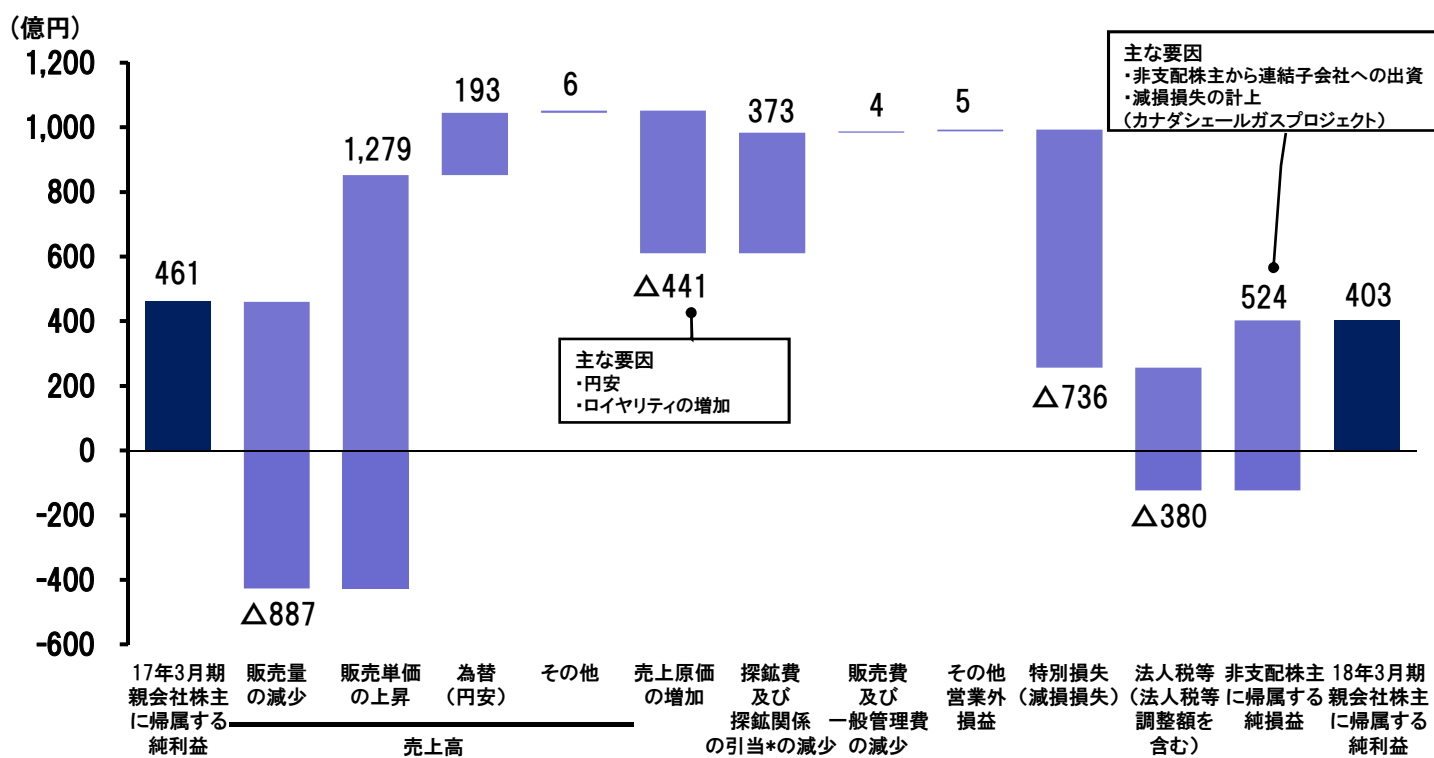
営業外収益・費用

INPEX

(億円)	17年3月期	18年3月期	増減	増減率	
営業外収益	390	552	161	41.4%	
受取利息	104	64	$\Delta 39$	$\Delta 38.1\%$	
受取配当金	28	47	19	70.5%	
投資有価証券売却益	49	-	$\Delta 49$	-	主にカンガンの引当戻入益
持分法による投資利益	21	41	20	92.7%	
生産物回収勘定引当金戻入益	-	175	175	-	
受取補償金	-	126	126	-	エクアドル共和国 ブロック18鉱区返還に伴う補償金
その他	186	96	$\Delta 89$	$\Delta 48.2\%$	
営業外費用	416	253	$\Delta 162$	$\Delta 39.1\%$	
支払利息	52	70	18	35.3%	
貸倒引当金繰入額	83	-	$\Delta 83$	-	
生産物回収勘定引当金繰入額	143	-	$\Delta 143$	-	主にナッケ石油株式売却に伴う損失計上の剥落
事業損失引当金繰入額	-	32	32	-	
為替差損	37	104	67	178.6%	
その他	99	45	$\Delta 54$	$\Delta 54.4\%$	

7

2018年3月期 純利益 増減要因分析



*生産物回収勘定引当金繰入額(戻入益)

貸借対照表



(億円)	17年3月期末	18年3月期末	増減	増減率
流動資産	9,429	4,695	△ 4,733	△ 50.2%
有形固定資産	19,285	20,446	1,160	6.0%
無形固定資産	5,212	5,415	202	3.9%
生産物回収勘定	6,119	5,890	△ 228	△ 3.7%
その他	4,242	6,923	2,681	63.2%
生産物回収勘定引当金	△ 1,168	△ 816	352	△ 30.1%
資産合計	43,121	42,555	△ 566	△ 1.3%
流動負債	2,974	3,091	117	3.9%
固定負債	8,071	7,875	△ 196	△ 2.4%
純資産	32,075	31,588	△ 486	△ 1.5%
(うち非支配株主持分)	2,643	2,421	△ 221	△ 8.4%
負債・純資産合計	43,121	42,555	△ 566	△ 1.3%
1株当たり純資産額 (円)	2,015.38	1,997.24	△ 18.14	△ 0.9%

現預金△3,765億円

イクスプロジェクトへの投資等

イクス下流事業会社(持分法適用)の要約財務情報(100%ベース、内当社株式比率は62.245%)

- ・流動資産 427億円
- ・固定資産 3兆4,797億円
- ・総資産 3兆5,224億円

※固定資産にはFID前投資、借入金の支払利息分等が含まれる

株主資本合計 +113億円

その他の包括利益累計額△378億円

- ・その他有価証券評価差額金 +37億円
- ・繰延ヘッジ損益 +250億円
- ・為替換算調整勘定 △666億円

キャッシュ・フロー

INPEX

(億円)	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
税金等調整前当期純利益	3,275	3,072	△ 202	△ 6.2%
減価償却費	911	928	16	1.8%
減損損失	63	799	736	-
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	798	534	△ 264	△ 33.1%
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△ 28	96	124	-
法人税等の支払額	△ 2,928	△ 3,292	△ 363	12.4%
その他	665	646	△ 19	△ 2.9%
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,758	2,785	27	1.0%
定期預金の預入による支出/払戻による収入	5,665	3,339	△ 2,326	△ 41.1%
有形固定資産の取得による支出	△ 2,783	△ 2,713	70	△ 2.5%
投資有価証券の取得による支出/売却による収入	△ 696	△ 1,277	△ 581	83.5%
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△ 373	△ 241	131	△ 35.3%
長期貸付けによる支出/回収による収入	△ 1,332	△ 1,722	△ 390	29.3%
権益取得による支出	-	△ 1,009	△ 1,009	-
その他	54	105	51	94.3%
投資活動によるキャッシュ・フロー	534	△ 3,519	△ 4,053	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 654	347	1,001	-
現金及び現金同等物の期末残高	3,167	2,760	△ 407	△ 12.9%

10

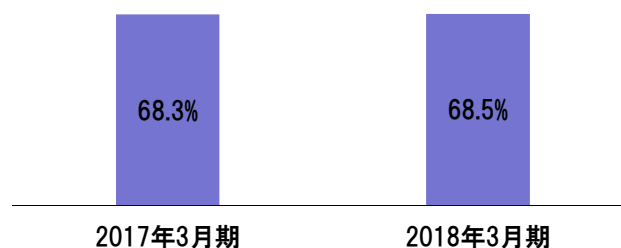
財務指標

INPEX

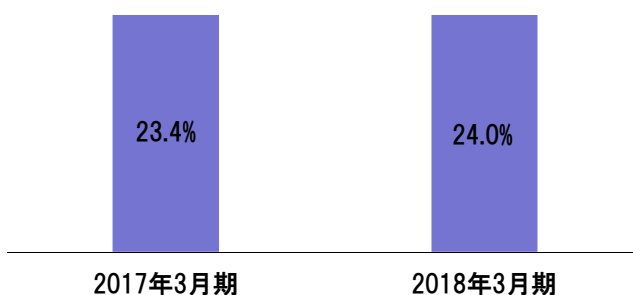
純有利子負債／使用総資本(ネット)*



自己資本比率**



D/Eレシオ***



* 純有利子負債／使用総資本(ネット) = (有利子負債 - 現金及び預金 - 国債・地方債・社債等(時価のあるもの) - 長期預金) / (純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金 - 国債・地方債・社債等(時価のあるもの) - 長期預金)
 ** 自己資本比率 = (純資産 - 非支配株主持分) / 総資産
 *** D/Eレシオ = 有利子負債 / (純資産 - 非支配株主持分)

11

2019年3月期 連結業績予想

前提	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	65.0	65.0	65.0
為替レート(円/US\$)	105.0	105.0	105.0

通期	2018年3月期(実績)	2019年3月期(予想)	増減	増減率
売上高 (億円)	9,337	8,600	△737	△7.9%
営業利益 (億円)	3,573	3,770	196	5.5%
経常利益 (億円)	3,872	3,710	△162	△4.2%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	403	480	76	18.9%

第2四半期累計

売上高 (億円)	4,479	3,840	△639	△14.3%
営業利益 (億円)	1,858	1,650	△208	△11.2%
経常利益 (億円)	1,954	1,650	△304	△15.6%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	301	120	△181	△60.2%

1株当たり配当金(円)	第2四半期末	9.0	9.0
	期末	9.0	9.0
	年間	18.0	18.0

12 ※期初における2019年3月期の年間配当額予想は1株当たり18円としておりますが、イクシスLNGプロジェクトからの生産及び出荷後、記念配当として1株当たり年間6円の増配を実施する方針です。

2019年3月期 販売量・投資額(予想)

	2018年3月期(実績)	2019年3月期(予想)	増減	増減率	
販売量	原油 (千bbl) ¹	112,882	98,604	△14,278	△12.6%
	天然ガス (百万cf) ²	264,816	284,278	19,462	7.3%
	うち海外分	185,573	201,982	16,408	8.8%
	うち国内分 (2,123百万m ³)	79,243	82,297 (2,205百万m ³)	3,053 (82百万m ³)	3.9%
	LPG (千bbl) ³	1,186	141	△1,045	△88.1%

	2018年3月期(実績)	2019年3月期(予想)	増減	増減率
開発投資額 ⁴ (億円)	6,019	3,260	△2,759	△45.8%
その他設備投資額 (億円)	33	30	△3	△9.1%
探鉱投資額 (億円)	49	130	81	165.3%
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)	探鉱費 ¹³ 53 探鉱関連引当額 ³⁹	探鉱費 ⁶² 139 探鉱関連引当額 ⁷⁷	86	162.3%
うち非支配株主持分負担額 ⁶ (億円)	6	22	16	266.7%

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29bblを使用
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m3=37.32cfを使用
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5bblを使用
 4 開発投資額にはイクシス下流事業を含む
 5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額のうち探鉱関連分
 6 非支配株主による増資見合い分等

原油価格・為替レートのセンシティブティ **INPEX**

■ 油価・為替変動の2019年3月期 親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額 (注1)

油価1ドル上昇(下落)した場合(注2)(注4)	+16億円(△16億円)
為替(円/US\$)1円 円安(円高)になった場合(注3)(注5)	+12億円(△12億円)

(注1) 原油価格(Brent)の期中平均価格が1ドル上昇(下落)した場合、為替が1円円安(円高)になった場合の、2019年3月期の当期純利益に対する影響額を試算したものです。当年度期初時点における既存の生産中プロジェクトの財務状況が主に影響しており、あくまでも参考値であること、また影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、加えて油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。

(注2) 油価変動が当期純利益に与える影響であり、原油価格(Brent)の期中平均価格の影響を受けます。

(注3) 為替変動が当期純利益に与える影響であり、期中平均為替レートの影響を受けます。尚、外貨建て資産と外貨建て負債の差から発生する為替評価損益に係るセンシティブティ(前期末と当期末の期末為替レートの差の影響を受ける)は、ほぼ中立化しております。

(注4) イクシスLNGプロジェクトの出荷開始後の油価センシティブティは、2倍程度となる見込みです。

(注5) イクシスLNGプロジェクトの出荷開始後の為替センシティブティは、20%程度増加する見込みです。